

# 令和4年度 学術研究業績

## 学会発表

題名	主演者姓名	学会名
移乗動作獲得の遅延が予想されたが、担当初期からスケジュール管理をすることで自宅退院に至った一症例	丸山香	回復期リハビリテーション病棟協会第39回研究大会
殿部膿皮症術後の疼痛による座位保持困難から自排尿困難に陥った患者に対するトイレでの自排尿獲得を目的としたリハビリテーション	中嶋菜々華	回復期リハビリテーション病棟協会第39回研究大会
閉塞性動脈硬化症による間欠性跛行を併存した脳卒中患者に対するトレッドミル歩行練習の実践	福本匠吾	第34回大阪府理学療法学術大会
腰椎椎間板ヘルニア併存のくも膜下出血患者に対しMotor Control Trainingを行い疼痛が軽減した一症例	福本匠吾	第26回ペインリハビリテーション学会学術大会
めまいの訴えが強く理学療法に難渋した小脳出血患者の一症例	福本匠吾	第1回日本前庭理学療法研究会学術集会
運動恐怖を生じた関節鏡視下腱板修復術後患者に対して患者教育を行った一症例 ～「痛み・行動日誌」を用いて～	氏家琴音	第34回大阪府理学療法学術大会
体幹低緊張を呈した右脳梗塞の一症例 ～急性期の離床方法の検討～	中尾修平	第34回大阪府理学療法学術大会
反復転倒歴を有した高齢頸髄不全損傷患者一症例 ～移乗・排泄動作自立へ向けた介入～	田口周輝	第34回大阪府理学療法学術大会
回復期脳卒中患者のTrunk Impairment Scale(TIS)の点数分布―後方視的記述研究―	松本拓也	第34回大阪府理学療法学術大会
閉塞性動脈硬化症による間欠性跛行を伴った脳卒中患者に対するトレッドミル歩行練習の実践	福本匠吾	第34回大阪府理学療法学術大会
下肢整形外科術後高齢患者における体幹回旋運動速度と歩行速度との関連	川村知史	第10回日本運動器理学療法学会学術大会
運動器慢性疼痛患者に対するマインドフルネスと既存介入の効果比較-システムティックレビューとメタアナリシス-	多久和良亮	第10回日本運動器理学療法学会学術大会
外傷性頸髄損傷者の実績指数の予測	宮下創	第20回日本神経理学療法学会学術大会
Perturbation-based Balance Trainingにより反応的姿勢制御に改善がみられた亜急性期脳卒中患者一症例	福本匠吾	第20回日本神経理学療法学会学術大会
脳卒中患者の歩行自立度予測モデル（EPOS model）の外的妥当性の検証-過去起点コホート研究-	福本匠吾	第20回日本神経理学療法学会学術大会
機能的電気刺激を用いて歩行再建を目指した頸髄不全損傷者一症例の介入報告	田口周輝	第20回日本神経理学療法学会学術大会

ティルトアップ時にめまい、気分不良、呼吸困難の自覚症状を訴えた外傷性頸髄不全損傷患者の一症例	坂井玄弥	第20回日本神経理学療法学会学術大会
急速に歩行機能が回復した胸腰椎移行部の外傷性脊髄損傷患者一症例	多久和良亮	第20回日本神経理学療法学会学術大会
くも膜下出血、右側頭葉皮質下出血後に歩行失調を呈した一症例	松村彩子	第20回日本神経理学療法学会学術大会
脳卒中後疼痛における痛みの性質とリハビリテーション予後	浦上慎司	第20回日本神経理学療法学会学術大会
当院リハビリテーション部スタッフにおける人生の価値観と仕事観について -匿名アンケート調査での計量テキスト分析からわかること-	多久和良亮	第7回JCHO地域医療総合医学会
当院におけるTKA術後1年経過した患者の不満足群の特徴	千葉一貴	第8回JCHO地域医療総合医学会
亜急性期脳卒中患者における動的座位バランスの遂行不可項目による歩行自立度の差異	松本拓也	第20回日本神経理学療法学会学術大会
超音波検査における測定肢位の違いによる摂食嚥下評価の信頼性の検討	中嶋菜々華	第28回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
ICTを活用した入院患者家族へのリハビリテーション進捗情報の提供	村上達典	第7回JCHO地域医療総合医学会
Withコロナの病棟管理が脳卒中患者の入院リハビリテーションに与える影響	村上達典	第10回地域理学療法学会学術大会
JCHO近畿地区における近畿中国四国における多施設合同勉強会の取り組みについて	清水凱斗	第8回JCHO地域医療総合医学会
理学療法臨床評価を簡便に用いる取り組み -小冊子の作成-	北川拳士	第8回JCHO地域医療総合医学会
超音波検査における測定肢位の違いによる摂食嚥下評価の信頼性の検討	中嶋菜々華	2022年度 森ノ宮医療大学 学術大会
脳卒中領域のトピックス 当院での脳卒中評価データベースについて	門川泰輔	第36回大阪府作業療法学会
「疼痛・補装具セッション」 座長	宮下創	第34回大阪府理学療法学会学術大会

## 論文執筆

題名	著者	雑誌
Internet-Based Information Sharing With Families of Patients With Stroke in a Rehabilitation Hospital During the COVID-19 Pandemic: Case-Control Study	村上達典	JMIR Rehabilitation and Assistive Technologies